

巻 頭 言

教育研究センター紀要創刊号の発刊によせて

神戸親和女子大学長
教育研究センター長
山 根 耕 平

2004年4月、教育研究センターを設置しました。この教育研究センターは「子ども教育研究所」「福祉・障害児教育研究所」「人権教育研究所」「高等教育開発研究所」の4つの研究所から成っています。

社会がかかえる多くの問題に大学として組織的に関わっていききたい、解決のための社会的なネットワークの拠点になりたい、というのが、「教育研究センター」設置の目的でした。スタッフは、専任教員と各分野で活躍の現場の先生方が中心になっています。

初年度は、各研究所とも、講演会・シンポジウムを中心に活動を行ってきましたが、初年度としてはかなりの成果をあげたものと思います。とくに、2004年5月14日の「子ども教育研究所」主催による講演会・シンポジウムは、ポートピアホテルで行われ、400名をこえる幼児関係者の参加者があり、たいへん盛況でした。「福祉・障害児教育研究所」も本学を中心に数回の講演会・シンポジウムを開催し、地域社会から高い評価を受けています。「人権教育研究所」と「高等教育開発研究所」は、今年度は主として学内活動に中心に行ってきました。研修会やFD活動の機会を提供しました。

さて、「教育研究センター」を設置して1年経過しましたが、このたび、「教育研究センター紀要創刊号」が発刊される運びとなりました。関係者の方々の1年間のご努力の成果がここに公表されますことに、心より敬意を表しますとともに厚くお礼申し上げます。この紀要の特徴は、それが研究論文と各研究所の報告から構成されていることです。さらに、本学の生涯学習センターと情報処理教育センターにおける研究論文を掲載しているところにあります。この意味において、本紀要は本学の社会とのかかわりから生まれた研究紀要であり、社会的な成果でもあります。

終わりに、この教育研究センターがさらに発展し、その紀要が、今後地域社会の大切な「知的財産」になることを期待して、センター長のごあいさつとします。